

# 第1回 東京・海の森 トライアスロン2022

大会プログラム(最終要項)

 JAPAN  
TRIATHLON  
AGE GROUP  
NATIONAL CHAMPIONSHIP  
SERIES

東京・海の森  
トライアスロン  
2022

 TMTU  
TOKYO METROPOLITAN  
TRIATHLON UNION

---

開催地 **海の森水上競技場**

開催日 **2022年10月2日(日)**  
雨天決行

スポーツくじ



本大会は、スポーツ振興くじ助成金を受けて実施されています。

主催 一般社団法人 東京都トライアスロン連合

---

# 注 意 事 項

- ※ バイクコースの一部である都有地 (P.22全体コース図参照) は立ち入り禁止エリアです。大会当日、特別に占用使用の許可を頂いての大会開催となります。当日はもちろん普段の日も、立ち入り及び試走はできません。何卒、ご理解・ご協力のほど宜しくお願いします。
- ※ バイクセットの際、トランジション入口ではヘルメットを着用してチェック(ストラップ緩み等確認)を受けるようにお願いします。
- ※ 計測用アングルバンドは試泳前にスイム会場でお渡しします。
- ※ バイクステッカーはサドル下の右側、ヘルメットステッカーはヘルメット前面と右側に貼付してください。
- ※ レースナンバーは、バイクは背面、ランは前面に貼付してください (ナンバーベルト使用推奨)。
- ※ ウェットスーツは着用義務です。
- ※ バイク、ラン競技時における上半身裸は禁止です。
- ※ バイクコースにエイドステーションはありませんので各自バイクボトルをご準備ください (ペットボトルは使用禁止)。
- ※ ゴミは大会側で用意した所定のゴミ箱に分別して捨ててください。ご自身のゴミは必ずお持ち帰りくださいますようご協力をお願いします。
- ※ 一時荷物預かり所を受付近くに用意しますので、必要な方はご利用ください (有料200円/袋)。
- ※ ボディナンバーはタトゥーシールを使用しますので両上腕に貼ってください。
- ※ ペナルティボックスはランコースに設けます。選手はご自身で、掲示されているナンバーを確認してペナルティを受けてください。
- ※ 本大会はドラフティング禁止です。安全を優先して厳しく監視しますので、ローカルルールに則ってバイク競技を行ってください。
- ※ 本大会では、バイク、ランの制限時間を設けています。詳しくはP.6の制限時間をご覧ください。
- ※ トランジションエリアには競技に関係ない荷物は置かないでください。競技の妨げになる場合は審判員が、選手に断りなく荷物を移動させることがありますこと、ご了承ください。
- ※ 皆さんの健康状態を確認する「健康チェックシート」を事前にご案内いたします。各自プリントアウトしていただき、1週間前から健康チェックを行い大会当日、受付で必要事項を記入済のものを提出してください。
- ※ 競技場に通じる道路は、10:00～14:00の間はバイクコースとして使用するため、交通規制を行います。この時間は競技場への出入りは出来ませんのでご注意下さい。

## 目 次

■ 東京都知事ご挨拶 ……………P.3	■ JTUトライアスロン エイジグループ・ナショナル チャンピオンシップシリーズ ……………P.8
■ 日本トラスロン連合会長ごあいさつ ……………P.4	■ 感染症対策について ……………P.8
■ 実行委員長ご挨拶 ……………P.5	■ その他(補償・軽食・トイレ他) ……………P.9
■ 大会概要・実行委員会 ……………P.5	■ 東京・海の森トライアスロン参加の方へ ……………P.10～11
■ 当日のタイムスケジュール・制限時間 ……………P.6	■ スタートリスト ……………P.12～19
■ 競技距離・表彰対象 ……………P.7	■ 大会本部・トランジションエリア周辺図 ……………P.20～22
■ 競技に必要な物・支給品 ……………P.7	■ 全競技コース図 ……………P.22
■ 大会(競技)実施の決定等 ……………P.8	■ 会場周辺MAP・アクセス・連絡先等 ……………P.23

## ご挨拶



東京都知事  
小池 百合子

新型コロナウイルス感染症との長きにわたる闘いの中で、医療従事者の皆様、感染拡大防止対策の徹底にご協力いただいている都民・国民の皆様に、改めて感謝いたします。また、本大会の安全・安心な運営に向けた関係者の皆様のご尽力に敬意を表します。

「第1回東京・海の森トライアスロン 2022」が、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の競技会場となった、ここ海の森水上競技場で開催されることをお喜び申し上げます。開催にあたり、早々に募集定員に達したとのこと。また、パラアスリートも参加します。大会は、競技の普及発展に大きく寄与することでしょう。

選手の皆様、日々の厳しい練習の成果を存分に発揮してください。同時に、トライアスロンを愛好する選手と、切磋琢磨しながら、友情を深められることを期待しております。

昨年夏に開催された東京2020大会は、多くの方々のご協力を賜り、成功裏に幕を閉じました。東京都は、東京2020大会のレガシーを都市の持続可能な発展、「サステナブル・リカバリー」につなげてまいります。スポーツが日常にとけ込み、誰もが健やかに、いきいきと暮らせる日々の実現が、一人ひとりを輝かせ、私たちの社会の発展を支えます。全ての都民・国民の皆様がこの先も、スポーツを通じて感動を分かち合える。そのための「スポーツフィールド・東京」を実現したいと考えております。皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、大会のご成功と、一般社団法人東京都トライアスロン連合をはじめ関係者の皆様の益々のご活躍を祈念してご挨拶といたします。

## ごあいさつ

公益社団法人 日本トライアスロン連合(JTU)

会長 岩城 光英



日頃からトライアスロン、パラトライアスロンそして関連マルチスポーツの普及と発展に貢献している「第1回東京・海の森トライアスロン2022」が開催されるにあたり、トライアスロンファミリーを代表して心からお祝いを申し上げます。

利便性の高い都内での本格的な大会の開催を、参加選手の皆さんは心待ちにしていたことと思います。東京湾の名所の一つでもある東京ゲートブリッジを背にする「海の森水上競技場」は、まだ記憶に新しい東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のボート競技、カヌー競技の会場でもあります。そこを舞台に大会関係者や地域の皆様のご尽力により、全国各地から集う選手たちが日頃の練習の成果を思う存分発揮することを期待しております。

一昨年来、思うように大会が開催できない時期が続きましたが、昨夏、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が実現したことは、多くのスポーツ関係者を勇気づけました。また、各地域の皆様の柔軟な対応により、全国各地で約300の社会貢献活動が実施され、トライアスロンファミリーの底力も感じることができました。

そして、この度、日本トライアスロン連合では、従来のエイジグループランキングの仕組みを一新し、他の競技団体やスポーツイベントに先駆けた試みとして「JTUエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ」を創設しました。レースを完走したすべての選手に世界選手権への日本代表選手資格が付与されるこの新しいシリーズは、多くのトライアスリートの新たな情熱と意欲を駆り立てることでしょう。

このようなスポーツの世界においても、持続可能な開発目標(SDGs)への貢献が求められています。スポーツを通じた健康増進・体力向上、地域創生・活性化の推進は、トライアスロン界が目指す指針と一致するものです。さらに、自然を活用して行われるトライアスロンならではの取り組み方法は様々です。まずは、私たち一人ひとりが日常的にできる環境問題へのアプローチの検討を提唱します。

「すべての挑戦を応援します!世界へ羽ばたけ、トライアスリート!」を合言葉に、全国各地のトライアスロン関係者の皆様と一致団結し、心新たに「健康スポーツ・トライアスロン」の普及・発展に力を合わせて取り組んで参りたいと考えておりますので、より一層のお力添えをよろしく願いいたします。

本大会にご支援をいただいた企業・団体そしてボランティアの皆様に心から御礼を申し上げます。「海の森トライアスロン」が、選手に愛され、より地域の振興と福祉に貢献できるよう、関係者の皆様のご支援をお願いし、大会の成功を心よりお祈りいたします。

# 「第1回 東京・海の森トライアスロン2022」いよいよ開催の運びとなりました！

まずは、開催にあたり、東京都はじめ各関係機関並びに多くの地元事業者様、支援機関、協賛企業及び協力企業・協力団体には、一方ならぬご尽力・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度は全国の多数の方々からご応募をいただきありがとうございます。2010年より城南島海浜公園をメイン会場として親しまれてきた「東京・江戸前大会」は会場を海の森水上競技場に移し、「東京・海の森大会」に生まれ変わります。マルチスポーツとして、7月にアクアスロン大会を開催し、今回、いよいよ本格的なトライアスロン大会の開催となります。

海の森水上競技場は、東京オリンピック／パラリンピック2020大会ではボート・カヌー競技を開催した施設です。この素晴らしい会場が2022年4月29日より再開業となり、一般利用が可能となりました。アクアスロンに引き続き「循環」をテーマとして、トライアスロンを通じて自然豊かな環境を存分に楽しんでいただければ幸いです。

この大会プログラム(最終要項)には、大会にご参加いただく選手の皆様が安全にレースを楽しんでいただけるためのルールや注意事項等が記載されております。感染対策やご自身でのごみの持ち帰り、体調管理などご協力をいただきたい事項もございます。必ず内容をご確認の上、ご参加くださるようお願いいたします。

スタッフ一同、皆様がベストコンディションで会場にお越しいただけることを願いながら、新しい大会会場で皆様の笑顔にお会いできることを心待ちにしております。

実行委員長 大村 真人

---

主 催	: 一般社団法人 東京都トライアスロン連合(以下TMTU)
後 援	: 東京都、公益財団法人東京都体育協会、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、 江東区、江東区体育協会、公益社団法人日本トライアスロン連合(以下JTU)
協 賛	: 天乃屋、大塚製薬工場、大森造園建設、ローソン、味の素、スポーツクラブNAS、 ZONE3、フォトクリエイト
協 力	: 海の森水上競技場、警視庁東京湾岸警察署、東京消防庁深川消防署、日本財団、 昭和大学江東豊洲病院、JTU東京ブロック協議会、江東区トライアスロン連合、 チームペガサス、エスピーアール、ネオシステム、シーフォース、STJレンテック、正協印刷

---

【大会実行委員会】	■ 大会 顧 問	岩城 光英(JTU会長)
	■ 大会会長／実行委員長	大村 真人(TMTU会長)
	■ 大会 副 会 長	白戸 太郎(TMTU副会長、東京都議)
	■ 大会実行委員(MC)	庭田 清美(オリンピック)
	■ レースディレクター	川添 勝(TMTU専務理事、JTU理事)
	■ 技 術 代 表	片倉 義之(TMTU)
	■ 審 判 長	岡本 伸久(TMTU)
	■ C R O	前田 隆司(TMTU)
	■ 大会審議委員	片倉 義之、川添 勝、大村 真人

## 当日のタイムスケジュール

### ■ スケジュール

※SP:スプリント SD:スタンダード

8:00	海の森会場競技場開場～駐車場OPEN
8:30 ~ 9:30	選手受付 (全カテゴリー)
8:30 ~ 9:15	輸送されたバイクの引き渡し
8:40 ~ 9:30	トランジションオープン (全カテゴリー)
9:50 ~ 10:10	スイム受付 (アンクルバンド渡し) 試泳 (必須 全カテゴリー)
10:10	スタートセレモニー
10:17	第1ウェーブ SP パラスタート
10:30	第2ウェーブ SP 高校生スタート
順次	第3ウェーブ SP 一般男子スタート
順次	第4ウェーブ SP リレースタート
順次	第5ウェーブ SP 一般女子スタート
10:33	第6ウェーブ SD 一般男子スタート
順次	第7ウェーブ SD 一般女子スタート
順次	第8ウェーブ SD リレースタート
	競技中
12:35	SP トランジションOpen
13:15	SP 表彰式
13:25	バイク制限時間
13:30	SD トランジションOpen
14:25	フィニッシュ制限時間
15:00	SD 表彰式
15:30	大会会場として閉場

### ■ 制限時間

カテゴリー	距離		
	スイム	バイク	ラン
スタンダード	1,500m	約40km	約10km
	(2周)	(8周)	(4周)
制限時間 (スタートから)	60分	2時間45分	3時間45分
スプリント	750m	約20km	約5km
	(1周)	(4周)	(2周)
制限時間 (スタートから)	30分	1時間20分	2時間

※ランコースの周回数は、当初の予定から変更となりました。

## 競技距離・表彰対象

### 競技距離

<b>スタンダード</b>	スイム：1,500m (2周回) バイク：40km (8周回) ラン：10km (4周回)	<b>スプリント</b>	スイム：750m (1周回) バイク：20km (4周回) ラン：5km (2周回)
---------------	---	--------------	--

**表彰対象** ※入賞商品は当日渡しのみとなります。表彰式にて表彰状をお渡しします。

### ●東京・海の森トライアスロン2022大会として

#### ◎スプリントディスタンス

パラ部門：1位～3位

高校生：1位～3位

一般男子：総合1位～3位、年齢別(10歳刻み)各1位

一般女子：総合1位～3位、年齢別(10歳刻み)各1位

リレー：1位～3位

#### ◎スタンダードディスタンス

一般男子：総合1位～3位、年齢別(10歳刻み)各1位

一般女子：総合1位～3位、年齢別(10歳刻み)各1位

リレー：1位～3位

#### ◎加盟団体対抗戦

※TMTU加盟団体による対抗戦を実施します。

※エントリー時に加盟団体対抗戦に登録された選手に対して、各カテゴリーで登録選手のための順位をつけ、上位からポイントを付与します(ポイント表参照)。加盟団体ごとにポイントを集計し、加盟団体の順位を決定します。カテゴリーごとに3位までの加盟団体に対して後日賞状をお送りします。

順位	ポイント数	順位	ポイント数
1位	30ポイント	6位	6ポイント
2位	20ポイント	7位	4ポイント
3位	15ポイント	8位	3ポイント
4位	10ポイント	9位	2ポイント
5位	8ポイント	10位以降	各1ポイント

### ●2022JTUトライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズとして

#### ◎スプリントディスタンス、スタンダードディスタンス

※こちらはランキング制度に従い、男女別5歳刻みとしてリザルトのみ公表します。

※同シリーズに関しては次頁(P.8)参照。

## 競技に必要な物・支給品

競技	各自持参	レース当日大会で支給
スイム	●スイムウェア ●ゴーグル ●ウェットスーツ (ウェットスーツは着用義務とします。)	●スイムキャップ アンクルバンド(計測チップ) ●ナンバーカード 1枚 (バイク背面、ラン前面、ナンバーベルト使用を推奨) ●ナンバーステッカー3枚/人 (バイク・サドル下の右側、ヘルメット前面および右側) ●アミノバイタル 1本/人
バイク	●バイク ●ウェア ●バイクボトル(ペットボトル使用禁止) ●ヘルメット(着用義務) ●サイクルコンピューター(推奨)	
ラン	●ランニングウェア ●シューズ (上半身裸などで走ることは禁止します。また、前面にファスナーがあるもの(フロントジッパー)の着用は原則禁止です。どうしても前面にファスナーがあるものを着用する場合は、ラン競技中もファスナーを閉めて競技をしてください。)	

※ナンバーベルトの使用を推奨します。

※アンクルバンドは、競技中必ず着用してください(着用していない場合は、タイムを計測できないため記録が取れません)。また、競技終了後Finish地点にて回収いたします。

**受付時に支給品をご確認ください(上記以外、協賛協力団体支給品各種、昼食チケット)。**

●アンクルバンド：試泳前に配布します。左右どちらの足首につけても構いません。アンクルバンドを受け取りましたら、スタートエリアからの移動はできませんのでご了承ください。

## 大会(競技)実施の決定等

原則雨天決行としていますが、悪天候の場合は大会当日08:40に競技実施検討会を開催し、開始・遅延・中止等のアナウンスを会場にて行います。

気象状況、天災、官公庁指示等によって、競技の中止、距離短縮、競技距離の変更などもあります。何卒ご理解とご了承のほどお願いします。

## JTUTライアスロン エイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ

東京・海の森トライアスロン2022は、2022JTUTライアスロン エイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズです。

### ■JTUTライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ (スタンダード/スプリント)

1. 対象選手：JTU主催・共催大会(シリーズ対象大会)に出場したエイジグループ選手 (JTU会員登録者)
2. 男女とも「5歳刻み年代別(24歳以下、25-29歳、30-34歳、35-39歳、40-44歳…)」のカテゴリーを設ける。
3. 対象年齢 カテゴリー男女とも「年代別(18-19歳、20-24歳、25-29歳、30-34歳、35-39歳、40-44歳…80-84歳、85-89歳、90歳-)」のカテゴリーを設定。※年齢は当年の12月31日現在基準
4. エイジ選手の完走者が対象。総合順位がない選手、TOV(タイムオーバー)・DSQ(失格)・DNF(途中棄権)・SKIP・OPENの選手は除外して計算する。
5. その他
  - (ア) これまで運用していた各大会のランク区分は廃止
  - (イ) 対象大会における完走実績選手(=ポイント取得選手)への「2022世界選手権/2022アジア選手権(スタンダード・スプリント・ロング)の参加資格」を授与  
※ 詳細はJTUサイトにてご確認ください



### ■ポイントシステムの特徴について

1. シリーズ対象大会において完走した全選手へポイントを付与する
2. 順位または完走タイムに応じてポイントを付与し、合計ポイント数からエイジグループランキング(年代別順位)を決定する。
3. 最大ポイント『1,000P』を、各エイジグループ別1位の選手に付与する
4. 2位以降は各エイジグループ別1位の選手とのタイム差から差分ポイントを計算する
5. エイジグループ区分は男女とも5歳刻みとする。

18-19・20-24・25-29・30-34・35-39・40-44・45-49・50-54・55-59・60-64・65-69・70-74・75-79・80-84・85-89・90-

※詳しくはJTUホームページをご参照ください

スタンダード <https://www.jtu.or.jp/rank/category/age/>

スプリント [https://www.jtu.or.jp/rank/category/age\\_sprint/](https://www.jtu.or.jp/rank/category/age_sprint/)

## 感染症対策について

新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先に大会を運営して参ります。参加者のみなさまには、様々な制限及びご協力をお願いすることとなりますが、ご理解をお願いします。

- ・健康チェックシート(1週間前から記入)の提出をお願いします。
- ・一つでも該当項目がある場合は参加を見合わせてください。
- ・感染回復後1週間以内の選手は医師の問診を必ず受けてください。
- ・試泳直前までマスクを着用してください。(スタート地点手前にゴミ箱・ゴミ袋を用意)
- ・スタート前の待機エリアでは会話は控えてください。
- ・フィニッシュしたら、すぐマスク(配布)を着用してください。
- ・3密を避ける、大声を出さない、ハイタッチを行わない等、感染対策にご協力をお願いします。
- ・競技中は黙レースで!(応援などへの感謝は笑顔で)

## その他

### ■ 昼食

参加選手の皆様には、1人1枚の食事券(500円分)を準備しております。大会当日、受付時に食事券をお渡ししますので、フィニッシュ後に駐車場入口のキッチンカーでお好みの食事と交換してください。食事はグラウンドスタンドの座席をご利用ください。それ以外での食事はお控えください。また、黙食にご協力ください。

### ■ 大会による補償

本大会中の事故に関しては、大会主催者が加入する保険の範囲内で補償いたします。

補償限度額:死亡・後遺障害1,000万円、入院5,000円/日(180日を限度)、通院2,500円/日(90日を限度)

### ■ トイレ

グラウンドスタンド1階にあるトイレをご利用ください。また、艇庫棟1階の更衣室近くにもトイレはございます。

### ■ 更衣

更衣室は艇庫棟1階にあります。なお、シャワーは利用できますが、ロッカーは使用できません。

### ■ ゴミ

ご自身のゴミはお持ち帰りいただきますようご協力をお願いいたします。また極力ゴミを排出しないよう、エコ活動にもご理解をお願いいたします。なお、大会で用意したお弁当の空き箱については配布場所にて回収いたします。

### ■ スタートリスト

確定次第、大会ホームページ(<https://www.msपो.jp/uminomoritr2022/outline.php>)に掲載いたします。

### ■ 写真撮影

大会主催者から特別に許可を得た業者等が写真撮影を行います(スタッフ用ビブスを着用しています)。業者が撮影した写真は、インターネットで購入が可能となります。

また、大会TOなどが記録等のために写真を撮影することがあります。撮影された写真の帰属はTMTU及び大会実行委員会とさせていただきます。TMTUのSNSやホームページ等で使用させていただく場合があります。写真の公開が不都合な選手は、事前にTMTU事務局にお申し出ください。

### ■ 健康チェックシートの提出

皆さんの健康状態を確認する「健康チェックシート」を事前にメールでご案内いたします。開催1週間前から体温測定、健康チェックを実施し、大会当日は受付に提出してください。必要事項が記載されているかどうかを確認し、大会参加を受付させていただきます。

### ■ 競技説明会の動画視聴

競技説明は動画配信にて行います。動画の途中でキーワードが出てきます。その内容を、健康チェックシートに記載していただき、提出してください。そのことをもって競技説明を試聴したものとみなします。

# 東京・海の森トライアスロン参加の方へ

競技ルールはJTU競技規則に準じます。

## ■受付について

- ◎どのカテゴリーの方も、開門時間以後は会場に入場できます。選手受付については、スケジュールに記載の時間に、受付へお越しください。
- ◎受付場所は、グランドスタンド1階(駐車場側)にあります。

## ■選手待機場所

- ◎グランドスタンドの座席を、選手の待機場所とさせていただきます。
- ◎飲食は可能ですが、ゴミの持ち帰りにご協力ください。

## ■レース前の準備

- ◎ナンバーカードは1枚、バイク競技で背面、ラン競技で前面に表示するようにしてください(ナンバーベルト推奨、安全ピンの使用は禁止します。トランジションなど素足で歩く場所があり危険防止のため)。
- ◎ヘルメットステッカーはヘルメット前面および右側に貼付してください。
- ◎バイクステッカーはサドル下の右側に貼付してください。
- ◎ボディナンバーシールは両上腕に貼ってください。
- ◎受付にて、両手の甲にレースナンバーをナンバリングします。ご自身で記載してください。



## ■ユニフォームルールについて

- ◎フロントジッパーのウェアは、原則使用禁止です。大会当日までにバックファスナータイプまたは、ファスナーなしのものをご用意ください。やむを得ずフロントジッパータイプしか用意できない場合は、本大会ではラン競技中もファスナーを閉めた状態で競技してください。バイク・ランは上半身裸で競技できません。

## ■大会ルールについて

- ◎基本的に「JTU競技規則(2019年1月改訂版)」に従って実施いたします。また、この最終要項に記載されている事項をローカルルールとして採用します。協議が必要な事項が発生した場合は、審判長の裁定及び審議委員会にて判断いたします。

## ■競技参加の流れ

### <全カテゴリー共通>

- ◎先ず来場されたら、グランドスタンド棟1階で受付を済ませてください。艇庫棟1階の更衣室を利用することが可能です。
- ◎トランジションオープンの時間になりましたら、競技に必要なもののみをトランジションにセットしてください。
- ◎ウェットスーツの着用が義務となります。
- ◎準備ができればスイムエリアに移動し、アンクルバンドを受け取り、試泳を行ってください。試泳は義務となります。(P.6タイムスケジュール参照)
- ◎試泳が終了したら、スイムスタート待機エリアにて待機してください。
- ◎感染対策のためマスクは試泳直前まで着用をお願いします。マスクを外したら唾を吐いたり、声を発したりすることは避けてください。
- ◎バイク競技では、ナンバーカードを背面にしてスタートしてください。
- ◎ラン競技では、ナンバーカードを前面に見えるように着用し、ランの準備をしてランスタートしてください。
- ◎フィニッシュ後、アンクルバンドを回収します。また、フィニッシュエリアにマスクを用意しますので、終了後はマスクの着用をお願いします。
- ◎エイドステーションはランコースに3箇所取れるようになっています。早めに水分補給をするなど脱水症状対策をお願いします。また、使用したコップは、その場で投げ捨てず所定のゴミ箱に捨ててください。放棄すると海に落下し、回収できないゴミとなる可能性があります。ご協力ください。
- ◎各種目の周回数はご自身で管理してください。周回数が不足している場合は、DSQ(失格)となります。また、周回不足のままフィニッシュした場合はコース復帰できませんのでご注意ください。
- ◎バイク・ラン競技中では、競技者によるイヤホンの使用やスマホ等での写真/動画撮影は禁止します。
- ◎審判員やスタッフへの暴言や選手同士での妨害行為など、本大会参加に相応しくない行為があった場合、該当する選手はDSQとなります。スポーツマンシップに則り、笑顔でフィニッシュできるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

## ■ スイム競技

- ◎スタートはローリングスタートです。ウェーブ内ではナンバーに関係なく、5人5秒でスタートします。審判員の指示に従って整列し、一定の距離を保ち、会話することなく待機してください。計測の開始はスタートラインの先の計測マットからです。スタートの順番は公式記録に影響はありませんので安全にスタートしてください。
- ◎入水は、足からの立ち飛び込みをお願いします（頭からの飛び込みは禁止）。
- ◎スイムコースは、時計と反対周り、周回は一旦陸に上がって、計測マット通過後、スタート地点から再度入水してください。
- ◎審判員やライフガードには、安全対策上、競技中止の権限を付与していますので指示に従ってください。
- ◎自信のない方は後方からゆっくりスタートしてください。
- ◎タイムオーバーの選手は、その時点で競技終了となります。

### スキップについて

大会（スタンダード、スプリントとも）では、事前申告、試泳後、1周後（スタンダードのみ）のスイムスキップを適用します。大会において「スキップ」とは、スタート前にスイム辞退者がバイク以降の競技に参加する制度で、記録上は完走とはなりません（DNF扱い、リザルト表示は「SKIP」）。

- ・スイムスキップ希望者は上記それぞれのタイミングで審判員にスキップを選択する旨を申告してください。
- ・審判員の指示に従って、トランジションエリア付近の所定の場所（赤いSKIP旗が目印）に11:30までに集合・点呼・アングルバンド受領・ナンバーカードにマーキング・11:40一斉スタートを予定しています。

### レスチューブの使用について

大会では、スイムの安全対策としてレスチューブの着用を許可します。ご利用の選手はご自身で事前のご準備をお願い致します（レンタルなどはありません）。詳細はこちらからご確認ください（[http://restube-jpn.com/news/tokyo\\_watarase2022/](http://restube-jpn.com/news/tokyo_watarase2022/)）。使用にあたり以下ローカルルールを適用します。

- ・着用しても膨張させなかった場合は、着用しない場合と区別なく、正規の記録となります。
- ・膨張させた場合はスイムスタッフ（審判員又はライフガード）確認の上、そのまま競技を継続することができます。ゆっくりと一呼吸おいて再スタートしてください。但し膨張させた場合は参考記録扱い（リザルトの表示は「RES」）となります。

## ■ バイク競技

- ◎周回数は選手自身の自己管理となります。サイクルコンピューターの使用を推奨します。（周回数が多いので注意してください）
- ◎コースは一部道路を使用します。車両や人の横断等にも十分注意して走行してください。また、コースの段差等にも注意してください。安全確保は、選手一人一人の義務です。
- ◎バイクボトルを落とさないよう注意してください。落とした場合は、バイクをコース端の安全な場所に止め、歩いて回収してください（放置した場合はペナルティの対象となります）。
- ◎バイクをラックから外す前にヘルメットのストラップをしっかりと締めてください。
- ◎乗車時は、乗車ライン後の地面に片足が完全に着地してから乗車してください。自信のない方は、コース端に寄って、慌てずにゆっくり乗車してください。降車時は、降車ライン前の地面に片足が完全に着地してから降車してください。
- ◎ドラフティング走行（前走者を風よけにして、楽に走ろうとすること）は禁止です。バイク前輪の最前部が、先行していたバイクの前輪の最前部より前方に出たとき「追い越した」とみなされます。追い越しを試みる場合は、先行する競技者の前輪最前部から、追い越しをする競技者の前輪最前部までの10m（ドラフトゾーン）に入って、20秒以内に追い越しをしなければなりません（20秒以内に追い越せなかった場合は一旦ドラフトゾーン外に下がってください）。また、追い越された選手は速やかにドラフトゾーン外に下がってください。
- ◎キープレフトの原則に従って走行してください。キープレフト違反は、ブロッキング行為とみなされる場合があります。
- ◎バイクフィニッシュ後は、バイクをラックに架けてからヘルメットのストラップを外してください。
- ◎制限時間までにバイクを終了できない場合、選手はその時点で競技終了となります。計測用アングルバンドを審判員に渡してください。
- ◎バイク最終周回の進入の関門時間を13:15としています。13:25がバイクフィニッシュの制限時間です。

## ■ ラン競技

- ◎キープレフトを厳守してください。ただし、一部海沿いを走るコースになります。コースの端に寄りすぎると海に落下する危険がありますのでご注意ください。
- ◎エイドステーションはコース上に3ヶ所。早めの水分補給を行ってください。コップは必ず所定のゴミ箱に棄ててください。
- ◎ラン周回不足の場合、フィニッシュ後のコース復帰はできません。
- ◎14:25がランフィニッシュの制限時間です。
- ◎制限時間までにランを終了できない場合、選手はその時点で競技終了となります。計測用アングルバンドを審判員に渡してください。

## ■ その他

- ◎熱中症に注意してください。水分補給はしっかり早めにとるようにしてください。
- ◎無理せず安全第一でレースを楽しんでください。体調不良と感じたら、勇気を持ってリタイア（アングルバンドを審判員に手渡し）することも大切です。
- ◎スイムのフォールススタート等の違反はT1でタイムペナルティ、それ以外はランコースのペナルティボックスでタイムペナルティを適用します。
- ◎刺青（タトゥー）は、隠さなくてもルール上出場できますが、周囲への配慮等、ご協力をお願いします。

# 東京海の森トライアスロン 2022 スタートリスト

## 第1ウェーブ スプリント パラ部門

スイムキャップ：グリーン

レースNo.	氏名	よみがな	YOB	都道府県	対抗戦加盟団体
951	土門 伸行	どもん のぶゆき	1970	東京都	—
952	多田 尚史	ただ なおふみ	1972	東京都	—

## 第2ウェーブ スプリント 高校生

スイムキャップ：ピンク

レースNo.	氏名	よみがな	YOB	都道府県	対抗戦加盟団体
901	奥山 楓也	おくやま ふうや	2004	千葉県	—
902	山下 龍	やました りょう	2005	東京都	—
903	林 琉聖	はやし りゅうせい	2004	福島県	—

## 第3ウェーブ スプリント 一般男子

スイムキャップ：ブルー

レースNo.	氏名	よみがな	YOB	都道府県	対抗戦加盟団体
701	柴田 大輔	しばた だいすけ	1997	神奈川県	
702	小森谷 功	こもりや いさお	1963	神奈川県	
703	柿崎 雄介	かきざき ゆうすけ	1982	東京都	
704	大垣 博彬	おおがき ひろあき	1997	神奈川県	
705	深澤 溪	ふかさわ けい	1992	神奈川県	
706	大野 雄一朗	おおの ゆういちろう	1984	東京都	江戸川区
707	寺元 麗人	てらもと よしひと	1990	神奈川県	
708	山崎 裕太	やまざき ゆうた	1990	埼玉県	
709	木村 悠	きむら ゆたか	1986	東京都	
710	境 広志	さかい ひろし	1965	東京都	
711	小林 充	こばやし みつる	1969	埼玉県	
712	島田 真史	しまだ たかし	1970	東京都	
713	斉藤 親	さいとう ちかし	1965	茨城県	
714	小口 裕也	こぐち ゆうや	1981	東京都	
715	熱い男 あつし	うえの あつし	1985	東京都	
716	服部 徳晃	はっとり よしあき	1972	岐阜県	
717	上松 義彦	うえまつ よしひこ	1966	埼玉県	
718	佐藤 勇治	さとう ゆうじ	1990	東京都	
719	吉岡 朋昭	よしおか ともあき	1963	東京都	
720	山田 浩司	やまだ こうじ	1963	東京都	
721	星 和宏	ほし かずひろ	1961	埼玉県	
722	藤井 充彦	ふじい あつひこ	1972	埼玉県	
723	金子 恒美	かねこ つねみ	1954	埼玉県	
724	金子 英一	かねこ えいいち	1962	神奈川県	
725	中田 真央	なかだ まお	1987	東京都	
726	永井 元	ながい げん	2002	神奈川県	
727	永井 潤一	ながい じゅんいち	1970	神奈川県	
728	國府 諒一	こくふ りょういち	1984	埼玉県	
729	矢口 照彦	やぐち てるひこ	1971	神奈川県	
730	L I Z H A N K A N	り たんかん	1987	神奈川県	
731	星川 浩	ほしかわ ひろし	1966	神奈川県	
732	青島 智	あおしま さとし	1966	神奈川県	
733	小林 栄治	こばやし えいじ	1971	東京都	江東区
734	弘前 正善	ひろさき しょうぜん	1961	埼玉県	
735	北村 孝	きたむら たかし	1959	埼玉県	
736	MacColgain Pdraig	まこーが ん ぼーどれいぐ	1968	神奈川県	
737	佐瀬 勝洋	させ かつひろ	1966	東京都	

レースNo.	氏名	よみがな	YOB	都道府県	対抗戦加盟団体
738	渋谷 和弘	しぶや かずひろ	1971	東京都	
739	門平 俊之	かどひら としゆき	1968	埼玉県	
740	河原 浩史	かわはら ひろし	1965	東京都	
741	Segalini Eddy	Segalini Eddy	1989	東京都	
742	城取 勝巳	しろとり かつみ	1964	東京都	
743	岸 和由	きし かずよし	1965	埼玉県	
744	嶋崎 裕二	しまざき ゆうじ	1993	東京都	
745	武内 優和	たけうち まさかず	1996	東京都	
746	沖村 政則	おきむら まさのり	1953	東京都	
747	藤田 一夫	ふじた かずお	1960	東京都	
748	山崎 哲男	やまざき てつお	1977	茨城県	
749	野村 均	のむら ひとし	1962	埼玉県	
750	川原 潤	かわはら じゅん	1983	神奈川県	
751	鈴木 努	すずき つとむ	1973	埼玉県	
752	土井 幹也	どい みきや	1973	東京都	
753	田原 寛文	たはら ひろふみ	1993	東京都	
754	田島 史雄	たじま ふみお	1966	東京都	
755	飯田 陽一郎	いいた よういちろう	1988	東京都	
756	齋藤 雄大	さいとう ゆうた	1985	東京都	
757	平田 浩一	ひらた こういち	1982	愛知県	
758	竹内 正昭	たけうち まさあき	1961	東京都	
759	島田 星一	しまだ せいいち	1979	東京都	
760	正村 浩三	まさむら こうぞう	1978	千葉県	
761	金子 理明	かねこ りめい	1989	東京都	
762	森本 正法	もりもと まさのり	1955	東京都	
763	平山 経政	ひらやま つねまさ	1966	神奈川県	

#### 第4ウェーブ スプリント リレー

スイムキャップ：イエロー

レースNo.	チーム名	スイム選手名	よみがな	YOB	バイク選手名	よみがな	YOB	ラン選手名	よみがな	YOB
601	トップガイ	川村 斉	かわむら ひとし	1978	松木 浩史	まつき ひろし	1970	中島 洋一	なかじま よういち	1972
602	チームへっぴりズ	石田 智博	いしだ ともひろ	1968	鈴木 佐梨	すずき さり	1987	土谷 加奈	つちや かな	1974
603	HTR	邨山 穂高	むらやま ほだか	2003	邨山 敏康	むらやま としやす	1970	パーソ ロバート	ぱーすろ ぼーと	1981

#### 第5ウェーブ スプリント 一般女子

スイムキャップ：ホワイト

レースNo.	氏名	よみがな	YOB	都道府県	対抗戦加盟団体
801	吉岡 憲子	よしおか のりこ	1965	東京都	
802	薬師 かれん	やくし かれん	1993	神奈川県	
803	上野 光理	うえの ひかり	2001	長崎県	
804	大野 香織	おおの かおり	1982	東京都	
805	廣瀬 直美	ひろせ なおみ	1980	神奈川県	
806	松井 郷美	まつい さとみ	1986	東京都	
807	永宮 友子	ながみや ともこ	1980	東京都	足立区
808	Ahlers Anna	あーらーず あなー	1983	東京都	
809	野村 美穂	のむら みほ	1979	埼玉県	
810	Jung Anna	ゆん あなー	1981	東京都	港区
811	近谷 純麗	こんや すみれ	1993	神奈川県	
812	藤野 真由美	ふじの まゆみ	1971	東京都	
813	高津 泉	たかつ いずみ	1968	埼玉県	

# 第6ウェーブ スタンダード 一般男子

スイムキャップ：レッド

レースNo.	氏名	よみがな	YOB	都道府県	対抗戦加盟団体
101	本田 忠晴	ほんだ ただはる	1968	山形県	
102	片伯部 達平	かたかべ たっぺい	1984	東京都	
103	永島 優作	ながしま ゆうさく	1988	神奈川県	
104	灘波 博司	なんば ひろし	1959	香川県	
105	羽根田 一真	はねだ かずまさ	1977	東京都	世田谷区
106	棚橋 伸	たなはし のぶ	1961	神奈川県	
107	大井 智仁	おおい ともひと	1998	東京都	
108	引地 勇二	ひきち ゆうじ	1999	東京都	
109	後藤 公成	ごとう きみなり	1982	埼玉県	
110	金子 奏一朗	かねこ そういちろう	1984	東京都	
111	土田 洋平	つちだ ようへい	1979	岐阜県	
112	岩田 寛紀	いわた ひろき	1985	大阪府	
113	米津 慎之介	よねつ しんのすけ	1988	神奈川県	
114	駒野 悠太	こまの ゆうた	1982	神奈川県	
115	高橋 豪一	たかはし ひでかず	1975	東京都	
116	ABSOUS Olivier	あぶすー おりういえ	1976	東京都	港区
117	ツェンダンバツェレンバト	つえでんだんぱ つえれんぱと	1984	神奈川県	
118	庄司 元樹	しょうじ げんき	1986	東京都	
119	片山 絵	かたやま かい	1986	東京都	
120	小野 瑛之	おの あきゆき	1996	神奈川県	
121	木塚 大悟	きづか だいご	1978	東京都	
122	田中 俊介	たなか しゅんすけ	1977	神奈川県	
123	阿部 幹也	あべ みきや	1993	福岡県	
124	佐野 幸輔	さの こうすけ	1974	神奈川県	
125	古橋 翼	ふるはし つばさ	1987	東京都	
126	田原 義夫	たはら よしお	1970	東京都	渋谷区
127	七原 崇行	しちはら たかゆき	1990	神奈川県	
128	大國 博英	だいこく ひろひで	1969	千葉県	
129	川嶋 仰健房	かわしま あうぐすとうすたけふさ	2002	東京都	
130	河村 雄也	かわむら ゆうや	1977	神奈川県	
131	篠田 圭吾	しのだ けいご	1980	東京都	
132	若穂 田 貴之	わかほい たかゆき	1976	東京都	
133	長辻 肇	ながつじ はじめ	1973	東京都	渋谷区
134	土屋 憲之	つちや のりゆき	1973	東京都	江東区
135	林 仁志	はやし ひとし	1969	東京都	江戸川区
136	今村 悠樹	いまむら ゆうき	1985	東京都	
137	伊藤 竜広	いとう たつひろ	1980	東京都	武蔵野市
138	内海 敬大	うつみ たかひろ	1982	東京都	
139	大坪 隆	おおつぼ たかし	1964	埼玉県	
140	大竹 朗	おおたけ あきら	1983	静岡県	
141	宮川 暢彦	みやがわ のぶひこ	1976	東京都	
142	小高 弘行	おだか ひろゆき	1978	神奈川県	
143	尤 波	ゆう は	1972	千葉県	
144	岩田 一宏	いわた かずひろ	1984	埼玉県	
145	市ノ川 隆久	いちのかわ たかひさ	1985	神奈川県	
146	杉原 弘人	すぎはら ひろと	1965	東京都	
147	栗原 圭佑	くりはら けいすけ	1996	埼玉県	
148	根本 貴弘	ねもと たかひろ	1973	東京都	江東区
149	樋口 翔悟	ひぐち しょうご	1992	愛知県	
150	江波戸 一貴	えばと かずたか	1969	東京都	
151	生田 哲	いくた てつ	1956	東京都	
152	神谷 貴彦	かみや たかひこ	1980	東京都	
153	藤田 明彦	ふじた あきひこ	1983	埼玉県	
154	鶴谷 周平	つるや しゅうへい	1975	東京都	
155	黒木 優佑	くろき ゆうすけ	1998	東京都	
156	二上 達也	ふたがみ たつや	2001	千葉県	
157	伊藤 たけし	いとう たけし	1961	東京都	渋谷区
158	原 荘太	はら そうた	1975	東京都	
159	日江井 昭宏	ひえい あきひろ	1965	東京都	
160	来栖 慎一郎	くるす しんいちろう	1990	東京都	
161	橋場 伸一郎	はしば しんいちろう	1971	東京都	
162	田原 真一	たはら しんいち	1985	東京都	
163	金長 則之	きんちょう のりゆき	1975	東京都	

レースNo.	氏名	よみがな	YOB	都道府県	対抗戦加盟団体
164	長岡 光雄	ながおか みつお	1968	群馬県	
165	中山 茂	なかやま しげる	1969	東京都	江東区
166	安藤 友久	あんどう ともひさ	1964	東京都	
167	宮崎 優也	みやざき ゆうや	1981	奈良県	
168	田上 英治	たがみ えいじ	1976	埼玉県	
169	鳥野見 泰嗣	とりのみ たいじ	1970	東京都	小金井市
170	大塚 庄一郎	おおつか しょういちろう	1979	千葉県	
171	海瀬 隆太郎	かいせ りゅうたろう	1974	東京都	
172	坂入 和徳	さかいり かずのり	1973	東京都	
173	木浦 武志	きうら たけし	1975	東京都	
174	栗本 秀夫	くりもと ひでお	1957	千葉県	
175	チェルバーグ スティーブン	ちえるばーぐ すていーぶん	1958	東京都	
176	三野 芳基	みの よしき	1976	東京都	
177	伊藤 一弥	いとう かずや	1961	東京都	
178	原田 真宏	はらだ なおひろ	1967	東京都	
179	山室 和也	やまむろ かずや	1959	東京都	
180	山本 英永	やまもと ひでなが	1972	神奈川県	
181	川本 貴裕	かわもと たかひろ	1991	神奈川県	
182	日比野 拓	ひびの たく	1988	神奈川県	
183	森 雅裕	もり まさひろ	1965	東京都	台東区
184	永津 陽一郎	ながつ よういちろう	1997	静岡県	
185	福田 高之	ふくだ たかゆき	1953	静岡県	
186	須崎 哲	すさき てつ	1974	東京都	
187	高島 正宜	たかしま まさよし	1971	東京都	
188	和久井 一隆	わくい かずたか	1971	東京都	
189	市川 和彦	いちかわ かずひこ	1957	東京都	世田谷区
190	石津 敦弘	いしづ あつひろ	1972	東京都	
191	國枝 秀行	くにえだ ひでゆき	1969	東京都	品川区
192	土本 優作	つちもと ゆうさく	1985	東京都	
193	太田 貴二	おおた たかじ	1968	東京都	
194	小西 裕二	こにし ゆうじ	1962	東京都	江東区
195	岩田 修治	いわた しゅうじ	1980	東京都	
196	張ヶ谷 真	はりがや まこと	1974	千葉県	
197	持田 敬司	もちだ けいじ	1982	東京都	杉並区
198	若林 文和	わかばやし ふみかず	1971	東京都	
199	古宮 聡	こみや さとし	1969	千葉県	
200	藤中 宏二	ふじなか こうじ	1972	東京都	文京区
201	野坂 英男	のざか ひでお	1976	静岡県	
202	康 寿成	かん すそん	1992	神奈川県	
203	安田 幸一	やすだ こういち	1968	神奈川県	
204	辻岡 徹	つじおか とおる	1960	富山県	
205	池畑 健太	いけはた けんた	1983	神奈川県	
206	堀内 浩司	ほりうち こうじ	1962	千葉県	
207	徳永 律	とくなが りつ	1962	神奈川県	
208	町田 邦夫	まちだ くにお	1953	東京都	
209	Snopek Krzysztof	すのぺっく くりすとふ	1991	東京都	大田区
210	仁木 良祐	にき りょうすけ	1988	千葉県	
211	佐竹 正規	さたけ まさき	1965	東京都	
212	川那部 岳志	かわなべ たけし	1963	東京都	
213	河野 朋和	かわの ともかず	1970	神奈川県	
214	渡辺 吏	わたなべ つかさ	1961	東京都	足立区
215	菊地 瞬也	きくち しゅんや	1989	東京都	
216	豊田 翔大	とよだ しょうた	1988	千葉県	
217	山本 至起	やまもと しき	2001	埼玉県	
218	川畑 幸久	かわばた ゆきひさ	1969	東京都	町田市
219	高瀬 誠	たかせ まこと	1978	東京都	
220	伊藤 寿浩	いとう としひろ	1973	神奈川県	
221	Murphy Gerry	まーふいー じゅりー	1989	東京都	
222	Toews Murray	たーうーず まーりー	1960	東京都	
223	一糸 俊輔	いと しゅんすけ	1979	東京都	
224	亀浜 功裕	かめはま かつひろ	1983	東京都	
225	京谷 信一朗	きょうや しんいちろう	1957	東京都	
226	吉村 貴由	よしむら きよし	1963	東京都	練馬区
227	吉澤 昭夫	よしざわ あきお	1972	東京都	
228	堀井 健司	ほりい けんじ	1952	東京都	

レースNo.	氏名	よみがな	YOB	都道府県	対抗戦加盟団体
229	大根 和則	おおね かずのり	1965	東京都	
230	大谷 紀之	おおたに のりゆき	1972	神奈川県	
231	大路 潔	おおじ きよし	1975	神奈川県	
232	大隅 潤也	おおすみ じゅんや	1977	群馬県	
233	宗像 孝文	むなかた たかふみ	1961	東京都	
234	岡本 隆二	おかもと りゅうじ	1970	岐阜県	
235	岩泉 謙吾	いわいずみ けんご	1974	東京都	
236	川瀬 直人	かわせ なおと	1973	東京都	
237	平井 正史	ひらい まさし	1972	静岡県	
238	斉藤 信行	さいとう のぶゆき	1975	東京都	
239	新津 慶太	にいづ けいた	1987	東京都	
240	本多 勇一	ほんだ ゆういち	1970	千葉県	
241	松原 美樹	まつばら みき	1964	神奈川県	
242	榎原 巧	えのらは たくみ	1998	神奈川県	
243	橋本 諭	はしもと さとる	1988	神奈川県	
244	永原 直哉	ながはら なおや	1977	兵庫県	
245	片桐 慎吾	かたぎり しんご	1984	神奈川県	
246	田中 真吾	たなか しんご	1995	埼玉県	
247	矢野 雅之	やの まさゆき	1993	東京都	
248	石上 耕司	いしがみ こうじ	1981	茨城県	
249	稲 寛彰	いね ひろあき	1972	東京都	
250	豊 孝司	もたい こうじ	1967	東京都	
251	荒本 知久	あらかもと ともひさ	1977	東京都	
252	菊地 頼介	きくち らいすけ	1979	茨城県	
253	蔡 洋	さい よう	1969	東京都	
254	見山 駿	みやま しゅん	1993	東京都	
255	鈴木 輝	すずき ひかる	1972	長野県	
256	鈴木 隆裕	すずき たかひろ	1975	東京都	
257	長谷部 吉紀	はせべ よしのり	1970	東京都	
258	阿部 忠順	あべ ただよし	1973	神奈川県	
259	青木 一憲	あおき かずのり	1977	東京都	世田谷区
260	中江 俊博	なかえ としひろ	1978	東京都	
261	伊東 芳行	いとう よしゆき	1967	東京都	
262	内山 善雄	うちやま よしお	1966	東京都	
263	及川 満	おいかわ みつる	1962	埼玉県	
264	堀内 英仁	ほりうち ひでひと	1984	東京都	
265	堀越 由忠	ほりこし よしただ	1969	埼玉県	
266	塩塚 大之	しおづか ひろき	1993	東京都	
267	小山 宜洋	こやま よしみ	1997	山梨県	
268	松岡 優	まつおか ゆう	1974	東京都	
269	松浦 裕幸	まつうら ひろゆき	1976	神奈川県	
270	榎本 正	えのもと まさし	1965	東京都	
271	水木 篤志	みずき あつし	1978	神奈川県	
272	江畑 将也	えばた まさや	1980	神奈川県	
273	渋屋 隆一	しぶや りゅういち	1975	神奈川県	
274	稲見 聡	いなみ さとし	1991	東京都	
275	西原 隆雅	にしはら たかまさ	1994	東京都	
276	西村 政樹	にしむら まさき	1974	東京都	
277	野田 農	のだ みのり	1981	東京都	
278	零石 政一	しずくいし せいいち	1973	埼玉県	
279	飯 三木康	いい みきやす	1958	東京都	
280	澤田 拓人	さわだ たくひと	1972	東京都	
281	井上 清孝	いのうえ きよたか	1969	神奈川県	
282	福井 英太	ふくい えいた	1987	東京都	
283	日比野 暢	ひびの とおる	1973	東京都	
284	谷口 知広	たにくち とみひろ	1985	東京都	
285	原島 隆太	はらしま りゅうた	1994	東京都	
286	林 和幸	はやし かずゆき	1973	千葉県	
287	小林 慶彦	こばやし よしひこ	1991	東京都	
288	吉田 悠	よしだ ゆう	1966	和歌山県	
289	早川 寛	はやかわ かん	1974	東京都	
290	森川 泰宏	もりかわ やすひろ	1979	神奈川県	
291	田中 雄介	たなか ゆうすけ	1971	神奈川県	
292	嵐 信明	あらし のぶあき	1967	神奈川県	
293	Pechter Kenneth	ぺくたー けねす	1964	東京都	

レースNo.	氏名	よみがな	YOB	都道府県	対抗戦加盟団体
294	千原 寿一	ちはら としかず	1958	大阪府	
295	國原 徳太郎	くにはら とくたろう	1980	東京都	
296	小笠原 治	おがさわら おさむ	1970	東京都	新宿区
297	山崎 宇一	やまさき うち	1980	東京都	
298	山崎 高嗣	やまさき たかし	1962	愛知県	
299	川窪 正	かわくぼ ただし	1965	神奈川県	
300	新藤 健司	しんどう けんじ	1967	神奈川県	
301	田中 晴彦	たなか はるひこ	1961	東京都	
302	高木 健次	たかき けんじ	1974	東京都	
303	内田 英良	うちだ ひでお	1966	東京都	港区
304	西山 高広	しやま たかひろ	1980	東京都	
305	菊池 智明	きくち ともあき	1966	東京都	
306	百塚 為靖	ひやくづか ためやす	1956	東京都	町田市
307	太宰 賢二	だざい けんじ	1981	東京都	
308	山口 巖	やまぐち いわお	1979	千葉県	
309	市川 幸洋	いちかわ ゆきひろ	1967	東京都	
310	梅津 雅人	うめづ まさと	1965	東京都	
311	田中 謙一郎	たなか けんいちろう	1973	神奈川県	
312	真城 壮司	ましろ そうし	1973	愛知県	
313	谷津 哲平	やつ てっぺい	1976	東京都	
314	麻生 康介	あそう こうすけ	1983	東京都	
315	藤崎 徳弘	ふじさき のりひろ	1960	千葉県	
316	木村 広治	きむら こうじ	1967	東京都	
317	菅原 敦史	すがわら あつし	1973	東京都	
318	安田 睦	やすだ むつみ	1978	東京都	
319	小山 智	こやま さとる	1962	東京都	
320	久保 伸英	くぼ しんえい	1973	東京都	
321	佐久間 通友	さくま ぬきとも	1967	埼玉県	
322	佐竹 理史	さたけ まさし	1966	東京都	
323	佐藤 圭	さとう けい	1967	群馬県	
324	内垣 万平	うちがき まんぺい	1977	東京都	
325	内田 進	うちだ すずむ	1968	埼玉県	
326	土屋 博	つちや ひろし	1968	埼玉県	
327	大竹 勉	おおたけ つとむ	1981	東京都	
328	蜂巣 広幸	はちす ひろゆき	1970	千葉県	
329	山口 卓也	やまぐち たくや	1984	東京都	
330	山口 英司	やまぐち えいじ	1970	神奈川県	
331	山本 真嗣	やまもと しんじ	1985	東京都	
332	庄司 功	しょうじ いさお	1956	千葉県	
333	彌勒寺 寛之	みろくじ ひろゆき	1979	栃木県	
334	有田 大輔	ありた だいすけ	1985	東京都	
335	村上 崇	むらかみ たかし	1977	長野県	
336	村橋 哲矢	むらはし てつや	1961	東京都	
337	松下 大介	まつした だいすけ	1972	神奈川県	
338	渡辺 征俊	わたなべ ゆきとし	1974	東京都	
339	疋田 将史	ひきた まさし	1970	神奈川県	
340	角田 悟郎	つのだ ごろう	1985	東京都	
341	関澤 哲	せきざわ あきら	1975	神奈川県	
342	鳥海 政洋	とりうみ まさひろ	1966	千葉県	
343	上田 慎悟	うえだ しんご	1964	東京都	
344	内山 和夫	うちやま かずお	1973	東京都	
345	吉泉 勇篤	よしいずみ ゆうとく	1959	東京都	
346	増原 雄太郎	ますはら ゆうたろう	1987	東京都	江東区
347	寺西 廣記	てらにし ひろき	1976	東京都	
348	山口 拓志	やまぐち ひろし	1968	宮城県	
349	岩澤 康一	いわさわ こういち	1977	東京都	目黒区
350	岩瀬 和広	いわせ かずひろ	1962	東京都	
351	高木 厚	たかぎ あつし	1983	愛知県	
352	傍土 卓朗	ほうじ たくろう	1951	東京都	
353	米山 仁	よねやま ひとし	1971	静岡県	
354	井上 知英	いのうえ ともひで	1979	東京都	
355	全 平烈	じょん ぴんより	1958	東京都	
356	今泉 景太	いまいずみ けいた	1973	埼玉県	
357	花澤 和男	はなざわ かずお	1960	神奈川県	
358	今永 雅人	いまなが まさと	1976	大阪府	

レースNo.	氏名	よみがな	YOB	都道府県	対抗戦加盟団体
359	伊藤 大輔	いとう だいすけ	1969	東京都	
360	富岡 穰	とみおか ゆたか	1983	東京都	
361	加藤 真	かとう まこと	1975	神奈川県	
362	土屋 誠	つちや まこと	1974	東京都	
363	土田 順悦	つちだ じゅんえつ	1959	埼玉県	
364	坂村 哲也	さかむら てつなり	1971	東京都	狛江市
365	大賀 俊介	おおが しゅんすけ	1962	東京都	
366	尾崎 正宏	おざき まさひろ	1976	埼玉県	
367	山口 善久	やまぐち よしひさ	1955	東京都	
368	川村 浩一	かわむら こういち	1977	愛知県	
369	川村 賢史	かわむら まさふみ	1980	東京都	板橋区
370	新倉 猛志	にいくら たけし	1962	東京都	
371	新谷 朋史	あらや ともふみ	1973	東京都	
372	海辺 義一	うみべ ぎいち	1987	福岡県	
373	生井 信男	なまい のぶお	1948	東京都	江東区
374	石倉 勝	いしくら まさる	1959	富山県	
375	芝田 聡	しばた さとし	1964	東京都	
376	野原 尊之	のほら たかゆき	1983	愛知県	
377	上田 佳正	うえだ よしまさ	1977	東京都	
378	岡田 達也	おかだ たつや	1975	東京都	
379	森 英明	もり ひであき	1975	埼玉県	
380	諸橋 峰雄	もろはし みねお	1973	東京都	
381	平野 勇治	ひらの ゆうじ	1983	東京都	
382	葉 定全	よう ていぜん	1976	東京都	
383	上原 一公	うえはら かずひろ	1978	神奈川県	
384	石田 洋祐	いしだ ようすけ	1988	静岡県	
385	山本 英幾	やまもと ひでき	1967	愛知県	
386	田中 純一	たなか じゅんいち	1967	愛知県	
387	落合 孝之	おちあい たかゆき	1966	東京都	
388	上田 一輝	うえだ かずき	1999	東京都	
389	大澤 陽樹	おおさわ はるき	1985	東京都	
390	寺戸 陽洋	てらと あきひろ	1978	神奈川県	
391	岩本 隼介	いわもと しゅんすけ	1981	東京都	
392	榎本 克彦	えのもと かつひこ	1961	埼玉県	
393	田島 康成	たじま やすなり	1970	千葉県	
394	秋山 充二郎	あきやま みつじろう	1971	東京都	江東区
395	藤原 千耀	ふじわら ちあき	1999	東京都	
396	鈴木 晴久	すずき はるひさ	1990	東京都	
397	齋藤 茂	さいとう しげる	1966	神奈川県	
398	三船 健	みふね たける	1982	東京都	
399	丘 吉宇	きゅう きーう	1966	東京都	
400	内島 龍也	うちじま りゅうや	2000	埼玉県	
401	鈴木 和典	すずき かずのり	1979	東京都	
402	新垣 駿	あらかき しゅん	1990	東京都	
403	井ノ上 陽一	いのうえ よういち	1972	東京都	
404	前田 祐聖	まえだ ゆうせい	1992	千葉県	
405	吉田 知弘	よしだ ともひろ	1970	東京都	
406	山崎 優	やまざき ゆう	1996	東京都	
407	森下 義人	もりした よしひと	1986	東京都	
408	遊佐 仁	ゆさ やすし	1979	東京都	
409	黒田 理人	くろだ りひと	1991	千葉県	
410	小畑 倫央	おばた みちお	1978	東京都	
411	奥井 伸雄	おくい のぶお	1965	神奈川県	
412	榎木 厚介	えのき こうすけ	1984	東京都	
413	ナウメンコ ルスラン	なうめんこ るすらん	1991	東京都	
414	大城 貴浩	おおしろ たかひろ	1991	神奈川県	
415	中村 仁一	なかむら じんいち	1992	東京都	
416	大島 昇	おおしま のぼる	1958	埼玉県	
417	竹内 昭久	たけうち あきひさ	1965	東京都	
418	中野 功揮	なかの こうき	1993	東京都	
419	高木 優充	たかぎ まさみつ	1987	東京都	

## 第7ウェーブ スタンダード 一般女子

スイムキャップ：オレンジ

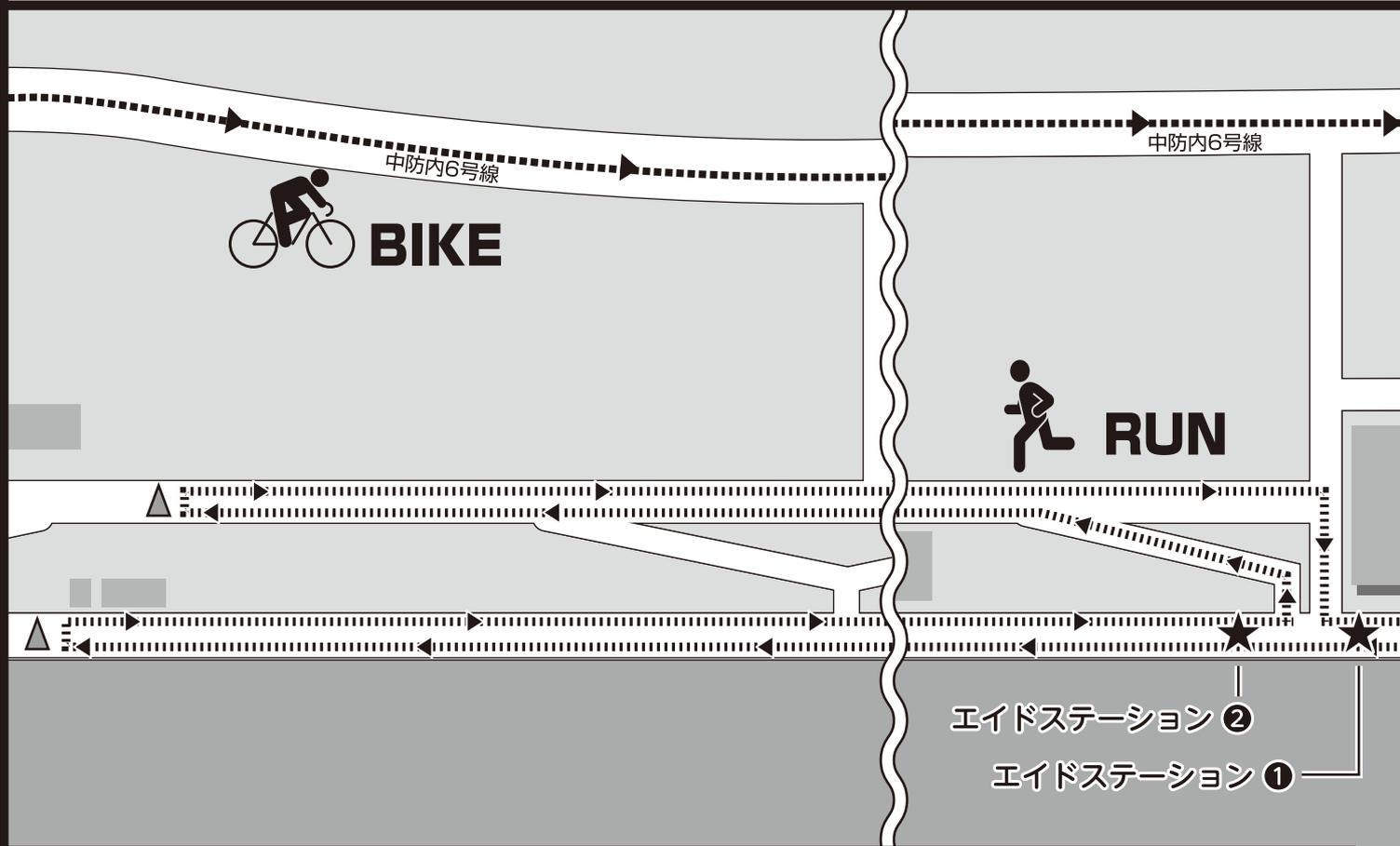
レースNo.	氏名	よみがな	YOB	都道府県	対抗戦加盟団体
501	七原 円	しちはら まどか	1992	神奈川県	
502	角 仁美	すみ ひとみ	1980	神奈川県	
503	川嶋 明子	かわしま あきこ	1971	東京都	西東京市
504	伊藤 亜紀子	いとう あきこ	1972	東京都	
505	須崎 とも	すざき とも	1986	東京都	中央区
506	山内 実代	やまうち みよ	1976	神奈川県	
507	LeDell Enkhchimeg	れでーる えんふちめぐ	1977	東京都	
508	Stevenson Kate	すていーぶんそん けいと	1991	東京都	
509	中村 絵理	なかむら えり	1963	埼玉県	
510	平賀 夕加里	ひらが ゆかり	1988	神奈川県	
511	田中 有美子	たなか ゆみこ	1973	大阪府	
512	鬼丸 真有美	おにまる まゆみ	1984	東京都	
513	櫻井 広美	さくらい ひろみ	1983	千葉県	
514	八木 真澄	やぎ ますみ	1966	東京都	
515	菊地 絵理香	きくち えりか	1972	東京都	
516	大久保 舞	おおくぼ まい	1985	福岡県	
517	大村 智子	おおむら ともこ	1965	静岡県	
518	小澤 真理子	おざわ まりこ	1966	富山県	
519	生井 佳奈子	なまい かなこ	1963	東京都	江東区
520	菊池 美奈	きくち みな	1963	東京都	
521	中山 琴絵	なかやま ことえ	1996	埼玉県	
522	高野 美海	たかの みう	2000	神奈川県	
523	今泉 瑞希	いまいずみ みずき	1993	神奈川県	
524	清宮 碧	きよみや みどり	1982	東京都	
525	原田 カサンドラ	はらだ かさんどら	1982	東京都	
526	桑原 梓	くわはら あづさ	1972	東京都	
527	大櫃 菜津子	おおびつ なつこ	1984	福岡県	
528	大富 あき子	おおとみ あきこ	1965	東京都	
529	梶山 泰代	かじやま やすよ	1975	東京都	
530	チェルバーグ 裕美	ちえるばーぐ ひろみ	1980	東京都	
531	本澤 実央	ほんざわ みお	1973	埼玉県	
532	佐藤 咲希	さとう さき	1994	埼玉県	
533	俵 るみ子	たわら るみこ	1976	東京都	
534	鈴木 香	すずき かおり	1966	東京都	
535	水野 かおる	みずの かおる	1971	千葉県	
536	原 マリン	はら まりん	1992	東京都	

## 第8ウェーブ スタンダード (リレー)

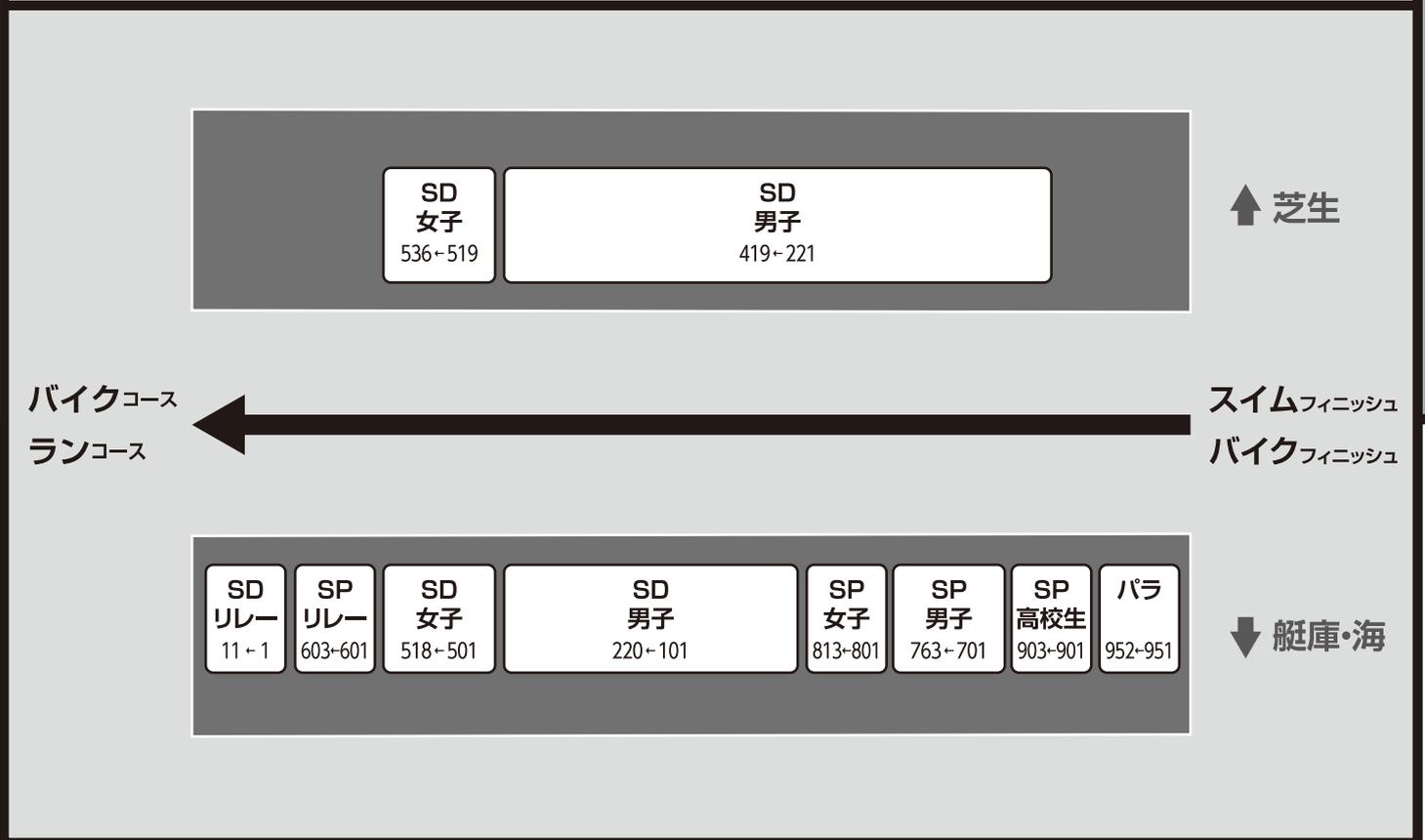
スイムキャップ：イエロー

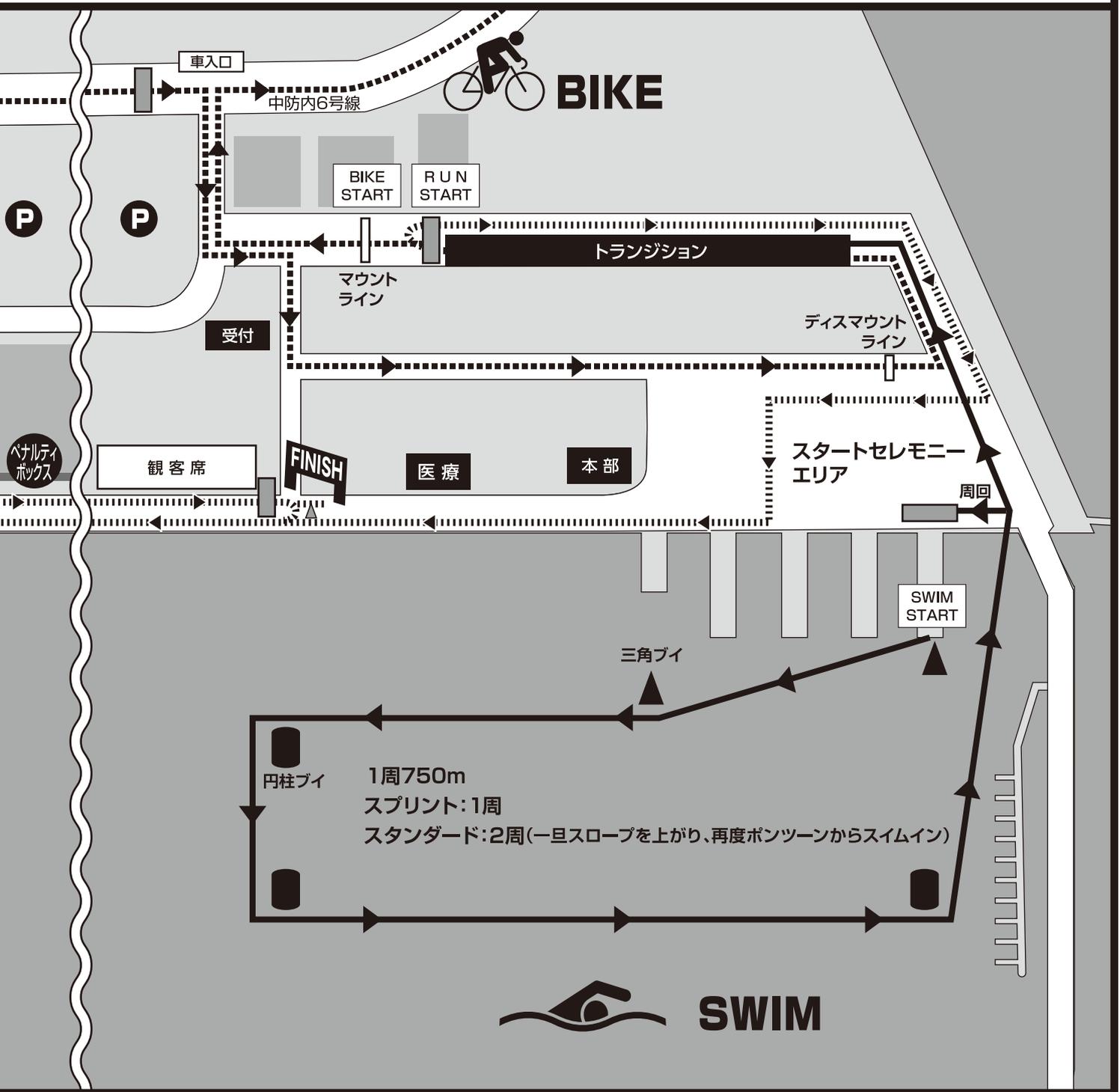
レースNo.	チーム名	スイム選手名	よみがな	YOB	バイク選手名	よみがな	YOB	ラン選手名	よみがな	YOB
1	袖付きガランシェール隊	山口 祐介	やまくち ゆうすけ	1984	野口 直起	のぐち なおき	1984	小野 裕克	おの ひろかつ	1976
2	C-Trident	山根 勝彦	やまね かつひこ	1965	桑田 恵梨子	くわた えりこ	1985	湯本 雅江	ゆもと まさえ	1987
3	ダイエントーズ	間宮 博子	まみや ひろこ	1970	森 秀明	もり ひであき	1959	赤城 久弥	あかぎ ひさや	1970
4	海校OB	仁平 涼介	にへい りょうすけ	1998	茂内 麗海	しげない れいあ	1999	森岡 悠樹	もりおか ゆうき	1994
5	スキルアップAIトリアスロン部	森田 大樹	もりた だいき	1993	西尾 苑香	にしお そのか	1997	皆川 正旨	みなかわ まさよし	1992
6	愉快的なデブ	澤和 信二	たくわ しんじ	1962	葦澤 真知	あしざわ まさと	1979	杉山 航	すぎやま わたる	1990
7	北砂メロンソーダズ	八木下 洋一	やぎした よういち	1960	矢竹 敏明	やたけ としあき	1966	八木下 洋一	やぎした よういち	1960
8	GO!田村-A	宇佐美 博一	うさみ ひろかず	1979	秋山 馨	あきやま かおる	1966	秋山 佳澄	あきやま かすみ	2002
9	FreeDAM	竹岡 昌宏	たけおか まさひろ	1968	竹岡 大輝	たけおか だいき	2002	大坊 明央	だいぼう あきお	1969
10	モンスタートリアスロンクラブ	幸坂 健太郎	こうさか けんたろう	1977	篠崎 友	しのざき ゆう	1983	澁谷 有樹	しぶや ゆうき	1979
11	チーム松山まなか	名取 和正	なとり かずまさ	1986	鈴木 篤志	すずき あつし	1969	松山 まなか	まつやま まなか	1979

# 大会本部周辺図

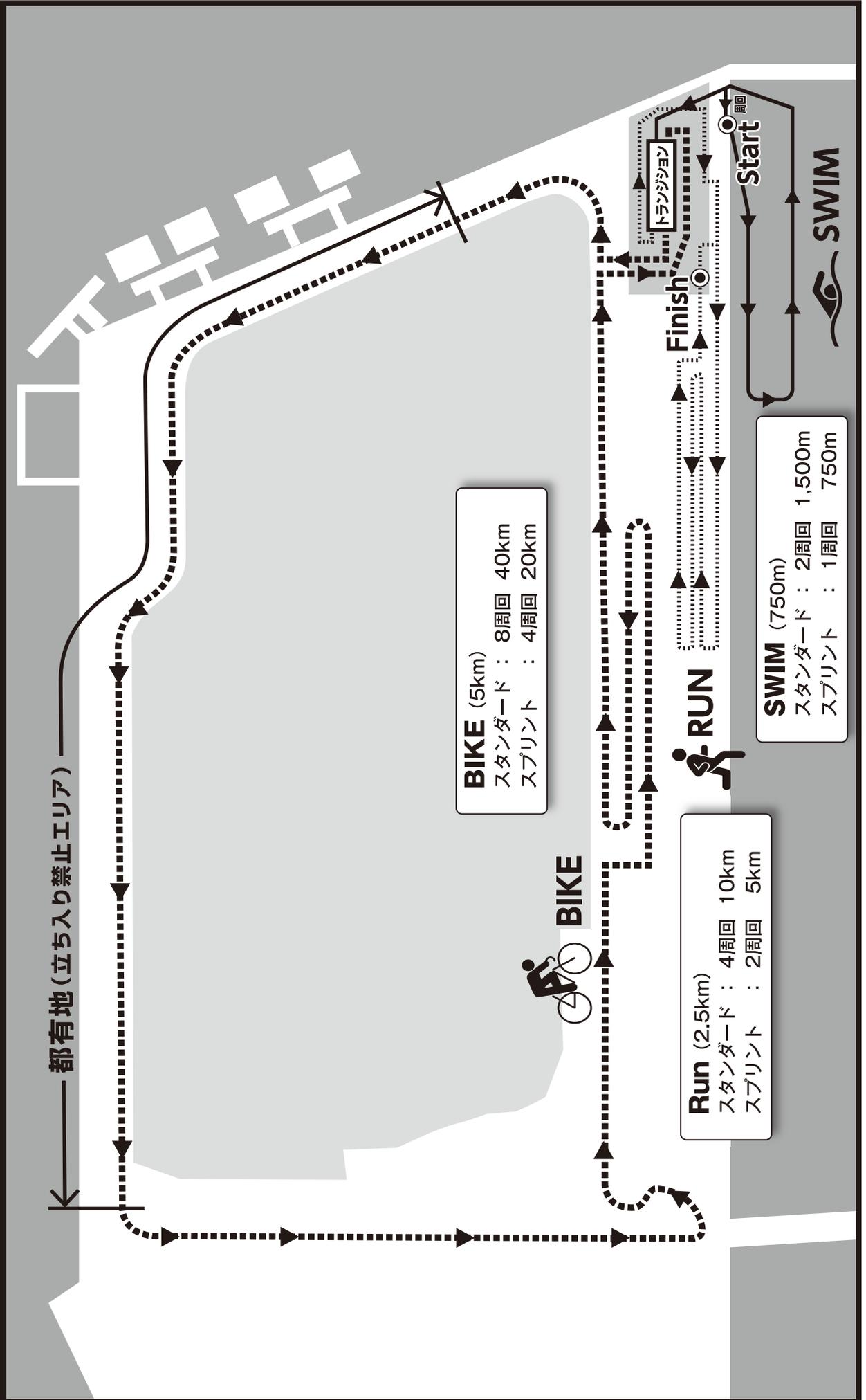


## トランジションエリア





# 全競技コース図



# 会場周辺MAP



**海の森水上競技場** (東京都江東区海の森3丁目6番44号)

## 交通アクセス

- 会場にはお車あるいはバス(専用および臨時)でお越しください。自転車や徒歩での来場は出来ない立地となります。ご注意ください。
- 駐車場は300台以上駐車可能(駐車料金 1,000円/台 終日)です。
- 国際展示場駅もしくは有明駅から会場まで、無料シャトルバス(1時間に1本)がごございます。時刻表は以下のリンクからご確認ください。  
[https://www.uminomori.tokyo/wp-content/uploads/2022/05/シャトルバス\\_通常ダイヤ.pdf](https://www.uminomori.tokyo/wp-content/uploads/2022/05/シャトルバス_通常ダイヤ.pdf)

シャトルバス  
通常ダイヤはこちら



大会当日(10月2日)の交通規制の関係でシャトルバスの運行は以下の通りとなります。

### 無料シャトルバス時刻表(29人乗り)

国際展示場駅前 発	14:00	15:00	16:00	17:00	
海の森水上競技場 発	13:40	14:40	15:40	16:40	17:45

### 無料臨時大型バス時刻表(自転車を携行する場合はこちらのバスをご利用ください)

国際展示場駅前 発	7:30(大中2台)、8:15(大中2台)、9:00(大1台)
海の森水上競技場 発	14:00(大1台)、15:00(大中2台)、16:00(大中2台)

※大会当日は国際展示場駅前から臨時に無料大型バス(路線バスタイプ)を運行します。自転車を携行される場合は、必ず輪行袋に入れて、ご自身で手に持ってご乗車ください。バスの乗車人数には限りがございますので、会場には時間に余裕をもってお越しください。

※大(大型バス80人乗り、但し輪行自転車含めると30人程度)  
 中(中型バス50人乗り、但し輪行自転車含めると15人程度)



一般社団法人

**東京都トライアスロン連合**

【大会ホームページ】 <https://www.mspo.jp/uminomoritr2022/outline.php>

【大会に関する問い合わせ】 TEL.03-6279-0572(月~金曜日/13~17時) [tmtu@tokyo.email.ne.jp](mailto:tmtu@tokyo.email.ne.jp)

【当日の緊急連絡先】 090-3313-8374(TMTU川添) 090-9973-5744(TMTU大村) 090-8807-0500(TMTU片倉)

